

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
農集排	02	01	01	814110	農業集落排水事業	
総合計画	暮らし					
	政策	2-2	生活基盤の充実			
	施策	6	汚水の適切な処理			
目的	農業集落排水施設の維持及び住民					
対象	事業計画区域内の住民					
意図	常に下水道を利用できるようにする。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<ul style="list-style-type: none"> 実施設計等 汚水処理施設及び管路施設の実施設計作成等 機能強化等工事 汚水処理施設及び管路施設の更新・改築工事 						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
				事業協力・協定		
				委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
① 調査計画実施	地区		計画		1	
			実績		1	
② 機能強化工事	地区		計画	2	2	
			実績	2	2	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
① 施設稼働率	%		目標	100	100	
			実績	100	100	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
経年劣化している設備については、機能強化工事に対応した。 緊急性のあるものは、応急処置及び補修等に対応し、目標を達成した。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・条例により定められている。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	・現在の施設稼働率は100%であり、向上の余地はない。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない <input type="checkbox"/>	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・コスト削減等に取り組む。 ・業務の中で外部委託できるものは実施しており、これ以上の人件費削減はできない。
	<input type="radio"/> 事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	・利益を受ける範囲が適正である。
	<input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
<ul style="list-style-type: none"> 老朽化に伴い施設全般で補修修繕等の必要な箇所が散見されている。 成果指標を維持するため、施設の長寿命化を図る必要がある。 		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ド	事業名
農集排	02	01	01	814110	農業集落排水事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		75,806	53,107		△ 22,699
財源 内訳	国・県	30,316	18,150		△ 12,166
	地方債	30,300	18,100		△ 12,200
	その他	9,928	10,802		874
	一般財源	5,262	6,055		793

事業期間	単年度繰返	<input type="radio"/>	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-------	-----------------------	------	-----------------

部重点施策における目標

汚水の適切な処理

事業開始の背景・経緯

農業集落排水は、農村地域の生活環境の改善と公共用水域の水質保全を目的に事業開始し平成22年度に全地区の施設整備が完了した。現在は、早期に供用開始した施設を中心に経年変化による老朽化が進んでいることから、施設全体で計画的かつ効率的な老朽化対策に取り組んでいる。

事業概要

- ・実施設計等
汚水処理施設及び管路施設の実設計作成等
- ・機能強化等工事
汚水処理施設及び管路施設の更新・改築工事

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

- ・必要に応じて施設を専門的に調査し、工法の検討を行う。
- ・事業計画を策定し、機能強化対策の事業申請を行う。
- ・実施設計を作成し、早期の工事発注に努める。
- ・機能強化工事を実施し、施設の長寿命化を図る。

担当部署 部名 建設部 課名 下水道課 担当係長 平賀 和幸 内線 552

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

①機能強化対策

区分		合計	補助事業	単独事業	備考
事業費	熊野工事	20,980	20,938	42	脱臭装置
	猪鼻工事	14,256	14,256		上澄水排出装置、シーケンサ インバータ
	委託料	2,358	1,106	1,252	設計 積算 施工管理
計		37,594	36,300	1,294	
財源 内訳	国庫	18,150	18,150		国：農山漁村地域整備交付金50%
	地方債	18,100	18,100		
	その他	1,344	50	1,294	

②その他

区分		合計	補助事業	単独事業	備考
事業費	調査設計	1,166		1,166	葛・田力地区公共下水道接続説明資料作成業務
	柵取付工事	13,740		13,740	花巻11件（内熊野4件）、石鳥谷3件
事務費		607		607	時間外26、需用費43、借上料329等
計		15,513		15,513	
財源 内訳	国庫				
	地方債				
	その他	15,513		15,513	

③合計

区分		合計	補助事業	単独事業	備考
計		53,107	36,300	16,807	
財源 内訳	国庫	18,150	18,150		
	地方債	18,100	18,100		
	その他	16,857	50	16,807	分担金10,802、一般財源6,055